

船舶事故等調査報告書

平成27年5月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|--|---|
| 事故等番号 | 2014神第122号 |
| 事故等種類 | 衝突（消波ブロック） |
| 発生日時 | 平成26年6月11日 21時50分ごろ |
| 発生場所 | 石川県金沢港港口 金沢港防砂堤灯台から真方位273°590m付近 （概位 北緯36°38.61′ 東経136°35.97′） |
| 事故等調査の経過 | 平成26年10月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 | 漁船 ^{りゅうおう} 龍王丸、14トン IK2-5592（漁船登録番号）、有限会社龍王丸漁業部 第210-46937号（船舶検査済票の番号） |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 船首外板及び球状船首に破損 |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、漁を終え、金沢港北西方沖を、金沢港の港口に向けて約8ノットの速力で自動操舵により南東進中、船長が、操舵室を離れ、船尾甲板で漁獲物の選別を行っていた。 船長は、本船が金沢港港口に近づく頃だと思い、船橋に戻ったところ、目前に消波ブロックが見えたので、機関を後進としたものの、平成26年6月11日21時50分ごろ、本船の船首が金沢港西防波堤の消波ブロックに衝突した。 本船は、自力で航行して金沢港に入港した。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 雨、風向 南東、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約0.1m |
| 分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、金沢港北西方沖を南東進中、船長が、操舵室を離れ、船尾甲板で漁獲物の選別を行い、見張りを行っていなかったことから、消波ブロックに接近していることに気付くのが遅れ、消波ブロックに衝突したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、夜間、本船が、金沢港北西方沖を南東進中、船長が、操舵室を離れ、見張りを行っていなかったため、消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。 |

| | |
|-----------|--|
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・常に適切な見張りを行うこと。 |
|-----------|--|